



特許第1委員会

◆ ミッション

- 出願～権利化までについてグローバル視点で制度のあるべき姿、実務における諸問題の検討を行い、会員企業に共有/各国庁に提言する

◆ 活動方針

- コミュニケーションを大切に
- 委員会活動は楽しく
- みんなの名前を残そう

◆ 委員会構成 (敬称略)

担当理事：阿部常務理事(三菱ケミカル)
石島常務理事(リコー)

委員数39名

委員長:横山(ヤマハ)

第1小委員会:8名
小委員長:太田(富士通)

第2小委員会:9名
小委員長:飛澤(旭化成)

第3小委員会:13名
小委員長:吉岡(メタウォーター)

第4小委員会:9名
小委員長:(兼)横山(ヤマハ)





特許第1委員会

◆ 第1小委員会：特許制度に関する研究

- テーマ名：早期審査の実態調査および提言
 - 概要：早期審査制度の現在の活用実態・傾向を把握し、本制度の今後の活用環境に貢献しうる提言を行う
- テーマ名：先行技術文献としての中国語特許文献の活用状況に関する調査
 - 概要：中国出願が伸びている事実を背景に、審査引例としての活用状況の調査を通じて、公知文献としての中国文献の価値評価を試みる

◆ 第2小委員会：記載要件に関する研究

- テーマ名：AI関連技術の記載要件
 - 概要：AI関連技術に関する記載要件の審査の実態を把握し、拒絶理由を克服するための対応方法等の調査研究を行う
- テーマ名：パラメータ発明の記載要件
 - 概要：パラメータ発明における記載要件判断については、偏光フィルム事件で一定の判断枠組みが示されている。しかし、結論が二転三転するケースがある。それらのケースから審査基準をより詳細・具体化できないかを研究する。





特許第1委員会

◆ 第3小委員会：審査の質・進歩性に関する研究

- テーマ名：情報提供制度の活用検討
 - 詳細：技術者から見て「当たり前」と思われるような技術に対して、特許が与えられてしまうことがある。出願人サイドから、業界の肌感覚を審査に反映させるために、情報提供制度をより活用できないか調査研究を行う
- ※他のテーマも検討中

◆ 第4小委員会：トレンドを踏まえた特許に関する研究

- テーマ名：ベンチャー共創に関する調査研究
 - 詳細：大企業とベンチャーの間における知財課題と解決策を検討し、解決策をまとめるとともに、解決に必要な制度等について提言する
- テーマ名：SDGsに関する調査研究
 - 詳細：SDGsの観点で会員が特許出願に関して課題と感じていることをアンケート等を通じて把握し、その課題の解決方法を検討する

◆ その他の活動

- 特許庁(審査基準室・品質管理室)との意見交換会：9月13日/来春



- 弁理士会/アカデミアとの意見交換会：未定